

令和7年度「小代っ子」

◆ふるさとに学び 誇りと夢をもち
心あたたかく たくましい 小代っ子の育成◆

香美町立小代小学校
R7.12.10 No.8

2学期も終わりが近づいてきました！

1 1月半ばからインフルエンザが小学校でも流行し、後半には学校閉鎖を余儀なくされました。欠席者が前日の倍近く増え、校内での拡大の可能性が高かったため、急な対応を取らせていただきました。保護者の皆様にはご協力いただきまして大変ありがとうございました。お蔭をもちまして、12月に入りインフルエンザは収まりました。

この間、1、2年生が楽しみにしていました祖父母交流会もやむなく中止させていただきました。ご準備していただいていた祖父母の皆様も残念に思われたことだと拝察いたします。また、5年生で計画していましたこぶし園の方々に来ていただいていた学習も中止しました。そのほかにも変更や中止をしながら学校運営を行ってまいりました。

安全を第一に考えてのことですので、どうかご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

12月になり雪の便りを耳にする時期になりました。北海道や東北では早くから積雪のニュースが流れています。先日こんな光景がありました。12月2日（火）の朝、小代の谷が霧で覆われました。あたり一面真っ白でした。登校してきた子どもたちに聞くと、「前が真っ白だった。」と言っていました。鉢伏山や小代スキー場から見下ろすと雄大な雲海を見ることができたと思います。また、今週は、先週の寒波で、学校から見える鉢伏山も積雪を確認することができます。

12月は「師走」といい、お坊さんが忙しく走り回る月と言われています。学校でも2学期のまとめに入っています。子どもたちも、ラストスパートをしっかりと頑張してほしいと思います。

【保護者・地域の皆様へ】

今年度もスキー教室を3回予定しています。

- 1回目 令和8年1月20日（火） 予備日 1月27日 ※1年生は親子スキー
2回目 令和8年2月 3日（火）
3回目 令和8年2月10日（火）

昨年度は積雪に恵まれ、予定していました3回のスキー教室を実施することができました。今年度も3回のスキー教室が無事に実施できますことを切に願います。

保護者の皆様、おじろスキー場のスタッフの皆様、おじろスキークラブの皆様には大変お世話になります。よろしくお願いいたします。



【お知らせ】

本校もSC（スクールカウンセラー）やSSW（スクールソーシャルワーカー）と連携して、子どもたちをサポートしています。SCは心理の専門家で、主に子どもの悩みに対応し、問題解決を支援します。子どもだけでなくご家族の方も活用できます。SSWは教育と福祉の専門知識を持ち、子どもが抱える複雑な問題に対し、関係機関などをつなぎ解決を支援する専門職です。何かお家で困りごとがありSCやSSWを活用したいときは、学校に言ってください。学校が調整させていただきます。

なお、SCやSSWの本校での勤務は、月に2～3回あります。私たちは「チーム学校」として、子どもたちの健やかな成長を願い、みんなで支援していきます。秘密は厳守します。何でも気軽に相談してください。お子様はもちろん、保護者の皆様も決して一人で悩まないようにしてください。



【保護者の皆様へ お願い】

近年、気象の急変が珍しくありません。突然の雷雨も危機管理として想定しておかなくてはなりません。昨年、宮崎でサッカーの練習試合中に高校生が落雷事故に遭い、今年に入り、奈良でグラウンドでの部活動中に中高生が落雷事故に遭いました。これらの事故以来、雷が聞こえたら外での活動は中止するようになりました。

今年度、本校でも下校時刻間近に雷が聞こえてきたため下校を見合わせたことがありました。そして、迎えに来ていただいたこともありました。その節は、各ご家庭でも迅速に対応していただきありがとうございました。お蔭をもちまして、児童も安全に下校することができました。

また、私の出勤時に雷が聞こえてきたことがありました。それ以来、子どもたちの登校時の雷も心配しています。登校時には、各ご家庭で対応していただきますようお願いいたします。

子どもの安全を第一に考えていきたいと思えます。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。何かありましたら、学校までご連絡ください。



【コラム】

11月の全校集会で、子どもたちに方言について話しました。

1年生の子どもたちが、読み聞かせボランティア「ほほえみ玉手箱」のスタッフの方に小代に伝わる民話の読み聞かせをしてもらいました。その中には小代の言葉（方言）が出てきました。ある1年生が「どういうこと？」と尋ねました。スタッフの方は丁寧に1年生に説明されました。

その様子を見ていて、今はあまり使われなくなっているのだと感じました。

全校集会で私は、「はさかる」という言葉を子どもたちに尋ねました。「はさまる」と答えてくれました。何人かの子どもは知っていたようでした。「ほうる」を尋ねると、「投げる」とか「捨てる」と答えてくれました。これはよく知っているようでした。最後に「なつべる」を尋ねました。これはあまり手が上がりませんでした。正解は「片づける」とか「しまう」という意味です。

私自身、方言ってなんとなくふるさとの言葉のように感じます。

【お知らせ】本便りをHPにもあげていますので、ぜひご覧ください。

※ 学校へのご意見・ご要望があれば、お知らせください。 ☎ 97-2004

